

改善計画書

施設名 長島中部保育所

(担当者 山本 )

(作成年月日 令和8年2月28日作成)

(施設として特に優れている点) やり続けること	1	大きな遊戯室を利用した運動あそび、異年齢交流。						
	2	複合施設の利用や施設利用者や職員との交流に加え、近隣施設なばなの里への散歩。						
	3	自然に恵まれた環境を生かした自然とのふれあいや飼育、野菜の栽培など。						
	4	地域のニーズに合わせた園庭開放や一時あすかり等の実施。						
	5	保育士と話しやすく保護者が安心して預けられる保育所。						
	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当	
すべりやすいこと	1	施錠の徹底	職員、保護者の意識が向上し、門の施錠が徹底される。	1年	R8.3	R9.3	施錠に関するわかりやすい文書を作成し掲示する。安全対策について園全体で共通認識できているか定期的に確認する。クラス懇談会や保育所だより等で保護者へ発信する。	所長・主任
	2	職員の防犯意識の向上	職員の防犯意識が向上し、保育所の安全性が高まる。	1年	R8.3	R9.3	毎月の職員会などで継続的にヒヤリハットを共有するとともに、防犯意識に関する資料を通して学ぶ機会を持つ。日中の施錠箇所、施錠すべきタイミングはどんな時か等をマニュアル化し、回覧、伝達により全職員への周知を徹底する。	所長・主任
	3	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直し後の周知	中・長期計画的なビジョンと計画を明確にする。	通年	毎年年度初め	毎年4月	年度初めに保育所に関する市政を周知するとともに、全職員で長期計画である「全体的な計画」を見直し、保育所のビジョンと計画を明確にする。	所長・主任
	4							
	5							
工夫しやすいこと	1	年休を平等にとる	誰もが納得し気持ちよく年休取得ができる。	1年	R8.4	R9.3	年休が平等に取得できるように前月の3日までに申請し、重なった日には保育所運営上全員取得が難しい場合において、所長・主任が采配するのではなく職員同士で話し合い、保育士自身の意思を尊重し決めてもらう。まずは1年間行ってみる。	全職員
	2	必要な情報を関係者全員が漏れなく共有できるように連絡方法を工夫する	連絡方法が周知され、関係者全員が必要な情報を共有できる。	1年	R8.4	R9.3	引き続き、会議の内容を配布物等で周知するとともに、普段の保育内容に関しても、伝達ノートを有効に活用し、定例の会議を持つ等することで伝達の漏れを防いでいく。まずは1年間行ってみる。	全職員
	3							
	4							
	5							
予算化しないこと	1	防犯カメラの設置	必要箇所に防犯カメラが設置される。	1年	R8.4	R9.3	市と連携して改善していく(担当課と協議済み)。	幼保支援課・所長・主任
	2	職員が年休が取りやすく、保育以外の業務の保障など働きやすい職場づくり	保育士の増員、年休要員の配置。	3年	R8.4	R11.3	現状を報告し、市へ人員を要望する	幼保支援課・所長・主任
	3	老朽化した園舎・遊具等の改善	老朽化した園舎・遊具等が改修され、より安全に遊ぶことができる。	5年	R8.4	R13.3	引き続き、市役所と相談の上、予算化し、施設の改善を進める	幼保支援課・所長・主任
	4							
	5							